

の創立總會に出席の爲上京中の奥村、世良南産業部次長に對しても友情として南氏が同社の重役に就任しても満鐵社員は今回の事件もあり一切同社に入社せず重役就任辭退方を勸告する模様で事態は愈々重大化せんとして居る。

三、大連二十五日發

二十四日の閣議に於ける北支開發問題の決定は満鐵本社に對し非常な動搖を與へて居る。

本社部、課、所長を中心とする幹部社員は本問題に就ては東上中の中西理事が二十五日中に歸任の豫定なる爲同氏の報告を待つて對策を練る模様であるが、今回の決定は大體滿鐵案の否決と見て社員は既定方針に向つて進むものと見られ事態は頗る憂慮されて居る。

四、大連二十六日發

北支開發に關する政府の方針決定し滿鐵案が全く容れられざることとなつたので上京中であつた中西滿鐵理事は松岡總裁の意を受けて二十五日午後歸連、本社部、課、所長一同と會見しその意見を聴取した、一方鐵道總局、新京支社に於ても社員の意向を取纏めて在京中の松岡總裁に報告、之によつて松岡總裁以下全重役の最後の態度を決定し至社員の善後措置を講ずる筈であるが、幹部社員の動向は注目される。

秘

内閣情報部一二・二四

情報第五號

一 同盟來電一不發表

滿鐵社員動靜

大連廿四日發

滿鐵各部課長は廿三日午後四時半より本社に全体會議を開催し高田監理課長が東京より齎らせる情報を中心に重要協議を重ねた結果、昨今某々方面より提唱された滿鐵の北支進出に關する妥協案は絶對に排撃し飽くまで職を賭して滿鐵案の貫徹を期すべしとの強硬方針を決定、上京中の松岡總裁以下に右の旨打電激勵した

80

極秘

内閣情報部二二、二四

情報第六號

一、パネー號に關する米國記者連の意見—

同盟來電—内報—不發表

ニユーヨーク二十三日萩原同盟特派員發

パネー號事件を繞る日米關係につき當地米人記者連の意見を綜合すれば左の通り

一、日本に取つて最も悪いのは米國が戦争に出て來ぬと多寡をくゝる事だ、成程目下戦争をする

氣はなからう、併し餘り見縊られると米國人特有の氣紛れを起す虞れがある

二、パネー號事件がうまく片付けば米國の態度は今後日本から物を買はぬ事位かも知れぬ、併し

日本に物を賣らぬこと、少くとも軍需材料を賣らぬ事まで進む可能性はなしとしない

一、米國の將來の保障要求を徹底的に押し擴げれば戦争を止めろといふ事にもなる、併し右を平和交渉の端緒と見るのは少し考へ過ぎと言はねばならない